

令和2年度 事業報告書(概要)

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

本事業年度における事業の概要は、次のとおりです。

1 配合飼料価格差補てん事業（定款第4条第1項第1号事業）

(1) 配合飼料価格差補てん数量契約

① 加入者件数

畜種	加入者件数(件)		
	R 2 (A)	R 1 (B)	増減(A - B)
乳用牛	90	95	△ 5
肉用牛	281	287	△ 6
豚	53	53	0
採卵鶏	25	25	0
肉用鶏	43	44	△ 1
その他	1	1	0
計	493	505	△ 12

② 契約数量

(単位：トン)

畜種	R 2 四半期					R 1	増減
	第1	第2	第3	第4	合計(A)	合計(B)	(A - B)
乳用牛	5,353	5,355	5,596	5,588	21,892	20,728	1,164
肉用牛	28,479	28,546	28,789	28,877	114,691	110,224	4,467
豚	53,918	52,650	55,247	53,328	215,143	221,763	△ 6,620
採卵鶏	38,493	38,447	38,833	38,600	154,373	155,142	△ 769
肉用鶏	55,280	51,780	56,088	56,340	219,488	229,992	△ 10,504
その他	30	30	30	30	120	120	0
計	181,553	176,808	184,583	182,763	725,707	737,969	△ 12,262

(2) 補てん積立金

令和2年度は、全日基が前年度に長期借入金の返済が完了し、補てん財源に余裕があったことから、各四半期とも補てん積立金を徴収しませんでした。

(3) 補てん金の交付

① 輸入原料価格及び補てん金単価

(単位：円／トン)

四半期	第1	第2	第3	第4
平均輸入原料価格(A)	27,655	25,349	25,078	29,669
基準輸入原料価格(B)	27,911	27,649	27,038	26,332
価格差(A-B)	△ 256	△ 2,300	△ 1,960	3,337
通常補てん金単価	0	0	0	3,300
異常補てん金単価	0	0	0	0
計	0	0	0	3,300

② 補てん金交付額

(単位：kg、円／トン、円、件)

四半期	対象数量	通常補てん金		交付 件数	交付 年月日
		単価	交付額		
第4	160,989,725	3,300	531,266,092	473	R3.5.12

(4) 別途納付金

(単位：件、トン、円／トン、円)

件数	対象数量	単価	金額	納付年月日
5	204	1,420	289,680	R2.6.29

(5) 基金間移動

基金間移動は、「商系基金」「全農基金」「畜産基金」の3基金間を年度初め(第1四半期)と下期(第3四半期)に限り移動できるもので、令和2年度は、畜産基金からの転入が3件あり、移動数量は計30トンでした。

2 畜産経営安定対策事業（定款第4条第1項第2号事業）

（1）肉用子牛生産者補給金制度

① 負担金及び手数料

（単位：頭、円／頭、円）

品 種	登録頭数	負担金単価	負担金	手数料	納付金額
黒毛和種	290	400	91,600	75,170	166,770
その他肉専用種	10	4,700	47,000	2,240	49,240
乳用種	1,717	1,700	2,918,900	458,005	3,376,905
交雑種	694	800	555,200	188,630	743,830
合 計	2,711	—	3,612,700	724,045	4,336,745

（注）1. 黒毛和種61頭分の負担金については、県畜産協会の準備金から繰入れ

2. 手数料の額は、令和2年9月から1頭当たりの単価が205円から300円に改定されたため、登録頭数に単価を乗じた額とは一致しない

② 生産者補給金

（単位：人、頭、円／頭、円）

四半期	品 種	生産者数	対象頭数	単価	金額
第4	その他肉専用種	4	14	22,700	317,800

（注）黒毛和種、乳用種及び交雑種は各四半期とも発動なし

（2）優良肉用子牛生産推進緊急対策事業（令和2年度、畜産業振興事業）

① 交付対象牛

肉用子牛生産者補給金制度に登録され、令和2年5月から12月に販売された肉用子牛

② 経営改善の取組

次の4つの取組のうち2つ以上に取り組む。

畜舎環境の改善 経営分析 子牛の疾病の防止

繁殖雌牛又は子牛の栄養状態の改善

③ 奨励金の単価

品種区分	発動基準A (奨励金単価：1万円)	発動基準B (奨励金単価：3万円)
黒毛和種	60万円	57万円
その他肉専用種	35万円	34万円
交雑種	30万円	29万円
乳用種	18万円	17万円

④ 取組結果

販売月	品種	頭数 (頭)	奨励金 単価(円)	金額 (円)
10月	その他肉専用種	1	30,000	30,000
1月・2月	その他肉専用種	4	30,000	120,000
合計		5	—	150,000

(3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

① 生産者負担金（積立金）及び手数料

(単位：頭、円/頭、円)

品 種	対象頭数	生産者 負担金	手数料	納付金額
肉専用種	3,325	48,000	2,044,875	2,092,875
交雑種	4,095	119,000	2,518,425	2,637,425
乳用種	9,270	342,000	5,701,050	6,043,050
合 計	16,690	509,000	10,264,350	10,773,350

② 補てん金交付額

(次頁に牛マルキンの補てん金交付額を記載)

＜牛マルキンの補てん金交付額：令和2年1月期～12月期＞

(単位：頭、円/頭、円)

区分	肉専用種			交雑種			乳用種			合計	
	頭数	単価	金額	頭数	単価	金額	頭数	単価	金額	頭数	金額
1月期	181	20,801.7	3,765,103	296	0	0	877	47,339.1	41,516,388	1,354	45,281,491
2月期	168	70,982.1	11,924,990	326	24,121.8	7,863,701	872	39,319.2	34,286,339	1,366	54,075,030
3月期	207	174,930.3	36,210,569	367	116,715.6	42,834,620	865	54,562.5	47,196,560	1,439	126,241,749
4月期	282	229,207.7	64,636,570	378	148,130.1	55,252,521	861	52,145.1	42,055,020	1,521	161,944,111
5月期	213	207,993.8	44,302,679	314	146,220.3	44,341,301	914	46,925.1	35,839,042	1,441	124,483,022
6月期	249	179,066.7	44,587,601	460	190,413.9	81,211,517	858	48,078.9	32,717,688	1,567	158,516,806
7月期	293	113,000.4	33,109,108	327	180,387.9	54,251,657	799	39,031.2	24,043,216	1,419	111,403,981
8月期	252	132,588.2	33,412,228	423	153,076.5	55,222,341	691	51,616.8	26,931,062	1,366	115,565,631
9月期	279	108,139.0	30,170,786	468	163,894.5	61,173,614	726	39,206.7	21,367,650	1,473	112,712,050
10月期	296	47,375.1	10,517,265	339	131,468.4	34,641,915	657	37,969.2	18,718,812	1,292	63,877,992
11月期	357	0.0	0	351	79,365.5	21,091,400	687	38,144.7	19,654,053	1,395	40,745,453
12月期	311	0.0	0	314	29,124.9	6,873,469	761	38,791.8	22,140,417	1,386	29,013,886
合計	3,088	-	312,636,899	4,363	-	464,758,056	9,568	-	366,466,247	17,019	1,143,861,202

(4) 肥育経営等緊急支援特別対策事業（令和2年度、畜産業振興事業）

① 交付対象牛

- ・牛マルキンの加入牛及び牛マルキン制度の要件を満たしている未加入牛
- ・繁殖雌牛、搾乳牛で3か月以上再肥育された牛

② 経営強化の取組

次の5つの取組のうち、2つ以上に取り組む。

飼料分析 血液分析 肉質分析 畜舎の環境改善 経営分析

③ 奨励金の交付単価

2万円/頭

ただし、中央10市場の平均枝肉価格が前年同月比△30%の場合は4万円/頭
同△40%の場合は5万円/頭となりますが、この場合は経営強化の取組を3つ以上とする必要があります。

④ 取組結果

[牛マルキン加入牛]

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	合 計
販売頭数(頭)	3,060	4,493	8,631	16,184
奨励金額(千円)	61,200	89,860	172,620	323,680

[牛マルキン未加入牛]

区 分	肉専用種
販売頭数(頭)	73
奨励金額(千円)	1,460

(注) 令和2年4月～9月販売分

(5) 肉豚経営安定交付金制度

① 生産者数及び事業対象頭数（年間契約頭数）等

生産者数 (戸)	事業対象頭数 (頭)	負担金 (円/頭)	事務委託費 (円/頭)
32	344,627	400	10

② 負担金及び事務委託費

(単位：頭、円)

四半期／項目	納付対象頭数	生産者負担金等		
		生産者負担金	事務委託費	合計
第1	86,712	34,597,300	867,120	35,464,420
第2	81,594	32,557,600	815,940	33,373,540
第3	89,188	35,575,200	891,880	36,467,080
第4	87,133	34,765,700	871,330	35,637,030
合計	344,627	137,495,800	3,446,270	140,942,070

③ 交付金の交付

(単位：円/頭、円/kg、kg)

項目／四半期	第1	第1～第2	第1～第3	第1～第4
標準的販売価格 (A)	42,671	42,865	40,640	39,195
標準的生産費 (B)	33,031	32,921	32,884	32,910
平均枝肉価格	544	553	523	502
平均枝肉重量	76.8	75.9	76.0	76.3
差額 (C = A - B)	9,640	9,944	7,756	6,285
補填金 (C × 0.8)	なし (A > B)	なし (A > B)	なし (A > B)	なし (A > B)

(注) 四半期毎に標準的販売価格と標準的生産費を算定し、前四半期で発動がない場合は通算で算定

3 畜産高度化支援リース事業（定款第4条第1項第3号事業）

<貸付料等>

内 訳	件数	金 額(円)
貸付料等（基本貸付料、附加貸付料、消費税、動産総合保険料、保証保険料）	21	28,320,748
譲渡代金（譲渡代金、消費税）	3	2,628,045
合 計	24	30,948,793

また、新規貸付けは3件で、事業費は76,771,000円でした。

<新規貸付け>

畜種	件数	事業区分	事業費(円)	貸付施設	貸付開始日
養豚	1件	環境	22,000,000	浄化槽	R3. 1. 28
			16,490,000	浄化装置	R3. 1. 28
			9,210,000	固液分離機	R3. 1. 28
	小計		47,700,000		
養豚	1件	環境	20,181,000	発酵機	R2. 7. 27
採卵鶏	1件	経営	8,890,000	集送卵コンベア	R2. 8. 31
合 計			76,771,000	—	

(注) 事業費は税抜き

4 家畜集出荷奨励事業（定款第4条第1項第5号事業）

十和田食肉センターの利用を促進するとともに、乳用種及び交雑種の肥育技術の向上と「あおり牛」の地域銘柄を確立することを目的に、十和田食肉センターの指定管理者である株式会社伊藤ハムと全農青森県本部が事務局である「あおり牛販売促進協議会」からの助成を受けて家畜集出荷奨励事業を実施しました。

5 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（国庫補助事業）

（1）機械導入事業

畜種区分	No.	機械装置名	事業費 (円)	補助金承認額 (円)
酪農	1	超音波画像診断装置	652,300	296,500
	2	カッティングロールベラー	6,677,000	3,035,000
養豚	3	自動給餌機	4,620,000	2,100,000
肉用牛 (一貫)	4	テッダー	1,595,000	725,000
	5	コーンハーベスター（牽引式）	1,886,500	857,500
肉用牛 (繁殖)	6	フロントローダー (サイレージ等取出・積載の用途に限る)	1,342,000	610,000
	7	ボールグラブ	528,000	240,000
肉用牛 (肥育)	8	マニユアスプレッダー	1,694,000	770,000
合 計			18,994,800	8,634,000

(注) 事業費は税込み

（2）生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）

① 交付対象者

畜産クラスター計画に位置付けられた取組主体の構成員（畜産農家等）

② 交付対象頭数

繁殖目的に飼養されている雌牛の期末頭数(令和2年12月31日)から期首頭数(令和2年1月1日)を差し引いた増頭数

③ 交付対象牛の主な要件

- ・繁殖目的に飼養されている和牛(黒毛和種、日本短角種等)
- ・期末時点で満9か月齢以上、かつ導入時点で満14か月齢未満
- ・脂肪交雑と5形質(枝肉重量、ばらの厚さ、ロース芯面積、歩留基準値、皮下脂肪厚)のうち1つについて、育種価又は期待育種価が生産県の上位1/2以内

④ 取組結果

事業参加者は3名で、期首・期末の飼養頭数を比較した増頭数は71頭、うち奨励金の交付対象となる育種価要件を満たした頭数は57頭であり、奨励金の交付額合計は10,117千円でした。

事業参加者	繁殖雌牛の期首頭数① (令和2年1月1日時点、頭)	繁殖雌牛の期末頭数② (令和2年12月31日時点、頭)	増頭数②-① (頭)	奨励金対象頭数 (頭)	奨励金単価 (千円/頭)	奨励金 (千円)
3名	2	6	4	2	246	492
	91	96	5	5	175	875
	367	429	62	50	175	8,750
合計	460	531	71	57	—	10,117

(注) 1. 奨励金単価：期首50頭未満246千円/頭、期首50頭以上175千円/頭

2. 奨励金対象頭数は1事業参加者あたり50頭が上限

6 経営継続補助金（国庫補助事業）

(1) 事業対象者

農林漁業を営む個人又は法人（常時従業員20人以下）

(2) 事業実施主体

一般社団法人全国農業会議所

(3) 補助対象経費、補助率及び補助上限

① 経営継続の取組に要する経費、補助率3/4、補助上限100万円

[機械装置等費、広告費、専門家謝金、委託費・外注費等]

② 感染拡大防止の取組に要する経費、補助率 定額、補助上限50万円

[消毒液、マスク、空気清浄機、換気扇等]

(4) 取組結果

一次募集で採択された件数は、従業員の接触機会を減らして鶏卵処理を省力的に行うための「ベルトコンベア」以下5件で、事業費(税抜き)は3,802,580円、補助金額は2,792,055円でした。

また、二次募集では、乳用牛の繁殖管理データを関係者が接触機関を減らした上で情報共有できる「繁殖管理システム」以下8件が採択され、事業費(税抜き)は11,535,734円、補助金額は6,097,010円でした。

〔一次採択分〕

取組項目	事業内容	事業費 (円、税抜き)	補助金額 (円)
A：経営の継続に向けた取組 (接触機会を減らす 生産・販売への転換)	ベルトコンベア	770,000	577,500
	乗用草刈り機	720,000	540,000
	マニユアスクレーパー	910,420	682,815
	計	2,400,420	1,800,315
B：感染拡大防止の取組 (感染時の業務継続体制 の構築)	換気扇	910,420	500,000
	消毒液、マスク、空気清浄機	491,740	491,740
	計	1,402,160	991,740
合計		3,802,580	2,792,055

〔二次採択分〕

取組項目	事業内容	事業費 (円、税抜き)	補助金額 (円)
A：経営の継続に向けた取組 (接触機会を減らす 生産・販売への転換)	繁殖管理システム	3,088,000	1,000,000
	リキッドフリーザー	914,680	686,010
	ロボット草刈り機	2,772,727	1,000,000
	全自動細霧ユニット	1,023,200	1,000,000
	冷水高圧洗浄機	440,000	
	ラップマシーン	1,800,000	1,000,000
	計	10,038,607	4,686,010
B：感染拡大防止の取組 (感染時の業務継続体制 の構築)	キャリー動力噴霧器	572,727	500,000
	換気扇（直径30cm）×10台	310,000	500,000
	換気扇（直径45cm）×3台	203,400	
	煙霧消毒機	330,000	411,000
	消毒薬拡散剤	19,000	
	消毒薬	53,000	
	消毒薬	9,000	
	計	1,497,127	1,411,000
合計		11,535,734	6,097,010

7 令和2年度和牛肥育経営緊急支援事業（青森県単独事業）

(1) 補助対象者

県内の牛マルキン制度に加入している肥育牛生産者

(2) 補助対象牛

令和2年4月から令和3年3月までに県内家畜市場から導入した月齢12か月齢の和牛肥育素牛

(3) 補助額及び補助上限

1頭につき1万円、1生産者あたり10頭まで

(4) 取組結果

本事業には6個人・5法人が取り組み、導入実績頭数は97頭で補助金額は、97万円でした。

No.	飼養頭数 (頭)	和牛出荷及び導入計画(頭)		事業対象 頭数(頭)	補助金交付 額(万円)
		出荷予定	導入予定		
1	12	7	10	10	10
2	3,067	1,590	434	10	10
3	142	88	89	10	10
4	2,000	240	292	10	10
5	520	11	9	10	10
6	30	8	8	4	4
7	118	39	23	10	10
8	52	4	3	3	3
9	88	60	61	10	10
10	34	3	6	10	10
11	130	106	114	10	10
合計	6,193	2,156	1,049	97	97

8 畜産経営災害総合対策緊急支援事業（畜産業振興事業）

(1) 補助対象者

畜舎等の被害を証明する市町村が発行した書面の交付を受けた畜産経営者

(2) 事業内容

畜舎・飼養管理機械等の補改修、緊急的な家畜の避難、停電対策及び非常用電源の整備等

(3) 補助率

補助対象経費の1/2以内

(4) 取組結果

本事業については、県畜産課から通知があったのが2月中旬で、また、補改修等の工事を令和2年3月末までに完了する必要があり事業実施期間が限定されたことから、事業対象となったのは1件のみでした。

被害を受けたのは堆肥舎の屋根で、工事費は2,293,500円、機構補助金は、1,042,500円でした。

なお、本事業は、令和3年度も継続して実施されることになりました。

(単位：円)

所在地	施設名	被災状況	事業費	負担区分		備考
				機構補助金	その他	
五戸町	堆肥舎	屋根の破損	2,293,500	1,042,500	1,251,000	堆肥舎面積 405㎡